

令和7年
7月号

太陽の都 だより

発行所 ●医療法人社団 博栄会 介護老人保健施設「太陽の都」 〒115-0051 東京都北区浮間 2-1-13 TEL03-3558-8881 FAX 03-3558-8831

責任者 右近

行事報告

☆「お買い物ツアー」

五月十九日(月)～五月二十九日(木)までの期間で通所リハビリテーションのご利用者様を対象とした「お買い物ツアー」を実施させて頂きました。「お買い物ツアー」は大変人気の高いイベントの一つであり、毎年開催を楽しみにされている方が多数おられます。一人ではなかなか買い物に行く事が出来ないご利用者様も多く、「お買い物ツアー」では普段あまりする事のできない買い物を、近くのショッピングセンターで楽しまれる姿が見受けられました。人によってはストレス発散の為に買い物をする方もいます。その位、物を見て、選んで、購入するとう一連の流れというのは、人間にとって欠かす事のできない動作の一つであると思います。今は便利な世の中になり、自宅にいなながらも食べ物や洋服、家電なども購入する事ができますが、実物を見て選ぶ楽しさに代わるものはありませんので、今後も実施を継続していきたいイベントの一つです。



☆「おやつバイキング」

六月一日(日)おやつバイキングを開催しました。先月は二階フロアで実施させて頂き、ご利用者様には大変喜んで頂けましたが、今回は三階フロアで実施をさせて頂きました。

二階フロアと同様、三階フロアのご利用者様も甘い物がお好きな方が多く、数種類の手作りおやつを目の前にし、喜ばれている方が多数おられました。普段もおやつのご提供をしておりますが、自身で数種類ある物の中から選ぶ楽しさもあり、普段と違った雰囲気味わっていただきました。「すごく美味しいね」「もっとたくさん食べたい」などの声も多く聞かれ、とても満足して頂けた様子でした。



「七夕」

広く知られている「七夕」という言葉ですが、語源は「棚機（たなばた）」といい、古い日本の禊ぎ行事で、乙女が着物を織ってそなえ、秋の豊作を祈り人々のけがれをはらうというものでした。乙女は「棚機女（たなばため）」と呼ばれ、神さまのために着物を織ります。そのときに使われたのが「棚機」（たなばた）という織り機だそうです。やがて仏教が伝わると、この行事はお盆を迎える準備として七月七日の夜に行われるようになりました。現在の七夕「たなばた」と当て字で読んでいるのも、ここから来ているとの事です。また、織姫と彦星の七夕ストーリーですが、ストーリーの発祥は中国であるのをご存知でしょうか？昔からあるお話なので、日本発祥の物語と思う事が多いですが、由来を辿ってみると意外な事実が隠されている事が多いのかもしれないですね。



博栄会グループニュース

「急性腹症ホットライン」を開設しました。

赤羽中央総合病院では現在、「急性腹症ホットライン」を新たに開設しております。虫垂炎・胆のう炎・消化管穿孔・ヘルニア嵌頓絞扼性腸閉塞などを疑う急な腹痛や、診断のついていない状態でも、かかりつけの先生よりホットラインにご連絡を頂ければ外科の専門医へ電話が繋がります。専門医も六名体制で実施しております。

ご連絡先

赤羽中央総合病院ER（救急センター）

〇三―三九〇二―二七五〇

月曜日～金曜日（九時～十七時）
土曜日（九時～十三時）



<近況報告>

様・御家族様

担当